

オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める（談話）

2016年12月14日

安保破棄中央実行委員会

事務局長 東森英男

昨夜、沖縄・普天間基地に配備されている米海兵隊のMV22 オスプレイが名護市の東海岸浅瀬に墜落し、大破しました。

構造的な欠陥機であるオスプレイの配備撤回を求めてきた私たちは、今回の事故を踏まえ、オスプレイ飛行中止を緊急に求めます。

今回の事故も住宅地に近いところで起きており、墜落地点が少しずれていれば住民を巻き込む重大事故になったことは間違いありません。

今回の事故により、高江のオスプレイパッドがいかに危険なものであるかが明らかになった以上、強権的な建設工事を直ちに中止するよう求めます。

事故を受けて稲田防衛大臣は本日、在日米軍司令官に対して、原因究明と安全が確認されるまでのオスプレイ飛行停止を求めたとされています。しかし、オスプレイの一連の事故歴を見れば、2012年におこなわれた日本政府の「安全宣言」がまったく根拠のないものであることは明らかです。このような欠陥機による訓練を全国に広げ、在日米軍や自衛隊に配備することは断じて許されません。

今回の事故によって、オスプレイの構造的欠陥がいつそう明確になった状況を踏まえ、日米両政府がすすめている以下の一連のオスプレイにかかわる計画を中止するよう強く求めます。

1. 普天間基地へのオスプレイ配備の撤回と全国への訓練拡大の中止
2. 陸上自衛隊が予定しているMV22 オスプレイの導入中止
3. 東京・横田基地に配備予定のCV22 オスプレイの配備中止
4. 千葉・木更津ですすめられている日米共用のオスプレイ整備拠点の撤去
5. 甚大な被害が出ている沖縄・東村高江へのオスプレイパッドの建設中止

以上